

現代政治制度分析Ⅱ

科目ナンバリング POL-304
選択必修 2単位

川人 貞史

1. 授業の概要(ねらい)

政治学は、政治現象を理解し、説明し、できれば予測する学問です。この講義では、政治現象を政治制度の制約の下で政治的アクターたちが相互に影響しあう結果として生じるものとして捉えていきます。この新しい研究アプローチにもとづいた現代政治学のテキストを使用して、政治学の基礎的理論と分析について概説します。政治学Ⅱでは、春学期の政治学Ⅰに引き続いて、テキストの後半部分を使用します。民主政治における権力の分割のための政治制度である執政(政権)・立法(議会)・司法(裁判所)、政策過程における官僚制と利益団体、連邦制と地方制度などの政治制度について概説した後、安全保障と平和、国際政治経済、国際社会と集団・個人といった国際政治について概説します。

2. 授業の到達目標

- ①自ら、政治学の概念を理解し、概念を使って思考することができるようになること。
- ②現実の政治現象を政治学的に理解することができるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

授業の各回における出席および随時実施するミニ課題の回答、LMSにアップされた授業スライドの既読マーク(あわせて50%)、授業内試験(50%)にもとづいて評価します。オンライン授業の課題提出は単位取得のために必須です。

4. 教科書・参考文献

教科書
砂原庸介ほか 『政治学の第一歩』新版 有斐閣2020年

5. 準備学修の内容

講義前に、テキストの該当箇所を読み、アップしてあるスライドを見て、予習してください。事前に読んでわからなかったことは積極的に質問するようにしてください。
講義後には、とったノートを読み返し、自分のまわりの政治現象について政治学的な考え方を応用してみましょう。
テキストを読まなければ、講義に出席しても、期末の授業内試験を受験しても、よい評価で単位を取得することは、むずかしいです。

6. その他履修上の注意事項

春学期の現代政治制度分析Ⅰも履修してください。
自分で自ら考える習慣をつけるようにして、自分が日頃ニュースやネットなどで触れる政治について疑問を持つようにしてください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|------------------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 執政・立法・司法① |
| 【第3回】 | 執政・立法・司法② |
| 【第4回】 | 政策過程と官僚制・利益団体① |
| 【第5回】 | 政策過程と官僚制・利益団体② |
| 【第6回】 | 連邦制と地方制度 |
| 【第7回】 | 連邦制と地方制度 |
| 【第8回】 | 安全保障と平和① |
| 【第9回】 | 安全保障と平和② |
| 【第10回】 | オンライン授業(LMSによる授業と学生による課題の提出) |
| 【第11回】 | 国際政治経済① |
| 【第12回】 | 国際政治経済② |
| 【第13回】 | 国際社会と集団・個人① |
| 【第14回】 | 国際社会と集団・個人② |
| 【第15回】 | まとめと授業内試験 |